

「賞味期限」と「消費期限」

皆さんは商品、特に食品を購入するときには賞味期限や消費期限を確認しますか？とても似ている言葉ですが、賞味期限と消費期限とは何でしょうか。

原則としてすべての加工食品には期限表示を記載することになっています。これによってこの食品をおいしく、安全に食べられる期限を判断する目安になります。

【賞味期限】

その食品のすべての品質が十分に保持できると認められた期限で、比較的傷みにくい食品に表示されます。この期限を過ぎても必ずしもすぐに衛生上の危害が生じるワケではありません。

（例：スナック菓子・缶詰・ジュース類・マーガリンなど）

【消費期限】

腐ったり衛生上の危害が発生する恐れがないと認められる期限で、傷みやすい食品（だいたい5日以内に悪くなるもの）に表示されます。

（例：お弁当・お惣菜・調理パン・生麺など）

賞味期限・消費期限とも容器や包装を開ける前の期限を表します。このため一度開封した食品は表示された期限にかかわらず早めに食べましょう。期限内であっても、要冷蔵や直射日光を避け冷暗所で保存するなど、決められた保存方法を守らないと品質は悪くなってしまうので気をつけてください。常温保存の場合は保存方法の表示が省略されていることもあります。

たまに賞味期限表示がされていないこともあります。その商品に表示をするための面積が非常に小さいものや、品質の劣化が極めて少ない砂糖や食塩、チューインガム、アイスクリームなどは省略されることもあります。

賞味期限はちょっと過ぎちゃってもすぐにダメになってしまうものではありませんが、消費期限はそれが過ぎると品質が悪くなるので食べないようにしてくださいね。